### 東京電機大学情報環境学部規則

平成22年3月9日 規4第89号

第1章 総 則

(趣 旨)

第1条 この規則は、東京電機大学学則(以下「大学則」という。)第3条第3項に基づき、情報環境学部(以下「本学部」という。)の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的、学年及び学期、教育課程及び単位、成績及び卒業その他大学則施行上必要な事項を定める。

(人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的)

- 第2条 本学部は、個々の学生がそれぞれの能力に応じ、それぞれの興味・関心を伸ばす「個別重視型教育」を通じて、将来にわたって情報技術の変遷に適応し、社会に貢献する能力を備えるための基礎学力と、本質を理解して広い視野に立って自らの進むべき方向を判断・選択する基礎能力を育成する。また、本学部は、情報関連の学術の発展と今後社会に必要とされる動向を見据え、21世紀に活躍できる情報に関する技術者を養成する。
- 2 本学部の情報環境学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は次のとおりとする。

情報環境学科は、情報、人間、システム、コミュニケーションの分野において専門性を十分に発揮できる情報技術に関する基礎能力を修得させることを目的とする。また、本学科は、急速な技術変革が常在化している情報社会において、技術の本質を見抜き、問題発見と解決能力を有し課題に的確に対処し、広い視野にたって21世紀に活躍できる情報に関する技術者を養成する。

第2章 組 織

(コース制)

第3条 本学部は、情報環境学科に、次のコースを置く。

ネットワーク・コンピュータ工学コース

デジタル情報工学コース

建築デザインコース

コミュニケーション工学コース

第3章 学年及び学期

(学年・学期)

第4条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

2 学年を次の2つの学期に分ける。

前学期 4月1日から8月31日まで

後学期 9月1日から翌年3月31日まで

第4章 教育課程及び単位

(授業科目)

第5条 授業科目の区分は、共通教育科目、専門教育科目及び教職課程に関する科目とし、別表第1のとおり開講する。

(履修の要件)

第6条 本学部における履修の要件については、別表第2のとおりとする。

(履修単位の制限)

第7条 本学部では、各学期に履修できる単位数を次のとおり定める。

1つ前の学期のGPA (小数点第4位を四捨五入)	履修登録上限単位数
2. 200以上	25単位
2. 199以下	24単位

2 第9条に基づき、履修科目を保留した者の次学期の履修単位については、学科長及び授業 担当教員の許可を得た場合、25単位まで履修することができる。

(事前履修条件)

第8条 履修する科目のうち、事前履修条件が付されている科目については、事前履修条件と して指定された科目の単位を修得(単位認定を含む)していなければ、履修することができ ない。

(履修科目の保留)

- 第9条 履修の途中で、やむを得ない理由により長期欠席する場合は、学科長及び当該授業科目の担当教員の許可を得た上で、所定の手続きをとることにより、履修する科目の評価を1年以内(休学期間を除く)に限り保留扱いにすることができる。
- 2 前項において評価を保留扱いとした科目を1年以内(休学期間を除く)に履修しなかった 場合は、E評価とする。

なお、保留扱いの期間内に卒業・退学・除籍となった場合についてもE評価とする。 (教員の免許状授与の所要の資格の取得)

第10条 本学部において取得できる免許状の種類は大学則別表第2とし、教職課程に関する科 目及び必要な授業科目は別表第3とする。

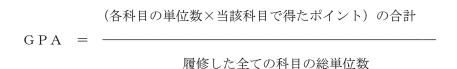
第5章 成績及び卒業

(成績評価・単位認定)

- 第11条 本学部は大学則第27条に基づき、科目の成績評価を行う。
- 2 本学部における、成績評価及びGPA (Grade Point Average) ポイント (以下「GPA」 という。) は、次の評点区分に基づき行う。

評点	成績評価	GPA ポイント
90~100	S	4
80~89	А	3
70~79	В	2
60~69	С	1
40~59	D	0
0~39	E	0
放棄	_	0

3 GPAの計算方法は次のとおりとし、GPAの表記は小数点第4位を四捨五入して小数点 第3位まで表示するものとする。なお、自由科目(卒業要件とならない科目)、履修を保留 した科目、単位認定科目及び履修中の科目は計算の対象としない。



(卒 業)

- 第12条 本学部は、4年以上在学し、第6条別表第2に規定する履修の要件に従い、合計124 単位以上を修得した者を卒業と認定する。
- 2 本学部は、大学則第32条第2項に定める卒業の基準を別に定める。 (学業継続願い)
- 第13条 前条において卒業を認定された者が、所定の手続きにより期間を定めて学業継続を願い出て、学部長の許可を受けた場合は、引き続き本学部の学生として在籍することができる。ただし、学業継続の願い出は平成32年8月末の卒業認定時を以て受付を終了する。
- 2 引き続き在籍できる期間は、大学則第 13 条に定める最長在学年限の範囲内かつ平成 33 年 3月 31 日を超えない範囲とする。

(退学勧告等)

- 第14条 学科長は、本学部教授会の議を経て定められた基準に該当する者で、学修意欲が欠如 していると判断した場合、口頭での教育的指導を行うとともに、退学予備勧告を行うことが できる。
- 2 学部長は、退学予備勧告を受けた者が、連続した2つの学期において本学部教授会の議を 経て定められた基準に該当し学修意欲が認められないと判断した場合、学部長は教授会の議 を経て、退学勧告を行うことができる。

第6章 改 正

(改 正)

第15条 この規則の改正は、本学部教授会の議を経なければならない。

附則

#### 1 (施行期日)

- (1) この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- (2) この規則は、平成23年3月8日に第3条を追加し次条以下を繰り下げ、第5条、第5条別表第1(情報環境学部の授業科目及び単位数)、第6条別表第2(情報環境学部の履修の要件)、第7条別表第3(情報環境学部における教職課程の履修方法)を改正し、平成23年4月1日から施行する。
- (3) この規則は、平成24年3月13日に第7条、第8条、第9条を追加し、次条以下を繰り下げ、第11条を改正し、第13条、第14条を追加し、次条以下を繰り下げ、第5条別表第1を改正し、平成24年4月1日から施行する。

ただし、平成23年度以前に入学した者の各学期に履修できる単位数については、第7条第1項の定めにかかわらず次のとおりとする。

1つ前の学期のGPA (小数点第4位を四捨五入)	履修登録上限単位数
2. 950以上	25単位
1. 001以上2. 949以下	21単位
1. 000以下	12単位

なお、平成23年度以前に入学した者の成績評価及びGPAの評点区分は、第11条第2項の定めにかかわらず、次のとおりとする。

評点	成績評価	GPAポイント
90~100	S	4
80~89	А	4
70 <b>~</b> 79	В	3
60~69	С	2
40~59	D	0
0~39	E	0

また、平成23年度以前に入学した者の退学勧告等に係るGPAの基準値については、第14条第1項、第2項の定めにかかわらず、「1.000未満」とする。

(4) この規則は、平成25年3月12日に第5条別表第1を改正し、第9条第2項を追加 し、平成25年4月1日から施行する。 なお、第9条第2項の経過措置として、平成24年度に在学している者で、平成24年度中に第9条第1項に定める所定の手続きをとりながら、評価を保留扱いとした科目を1年以内(休学期間を除く)に履修しなかった場合、または既に1年以内(休学期間を除く)に履修しなかった科目がある場合は、卒業・退学・除籍となった際にE評価とする。

- (5) この規則は、平成26年3月11日に第5条別表第1 (情報環境学部の授業科目及び単位数)を改正し、平成26年4月1日から施行する。
- (6) この規則は、平成 27 年 3 月 24 日に第 8 条、第 11 条、第 12 条、第 13 条を改正し、 平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

なお、第8条の改正は、平成26年度以前に入学した者についても適用する。

(7) この規則は、平成28年3月8日に第5条別表第1 (情報環境学部の授業科目及び単位数)を改正し、平成28年4月1日から施行する。

なお、第5条別表第1の改正は、平成27年度以前に入学した者には適用しない。 また、平成28年度在学者のうち平成25(2013)年度以前に入学した者の各学期に履修 できる単位数については、第7条第1項の定めにかかわらず次のとおりとする。

#### 【平成23年度以前に入学した者】

1つ前の学期のGPA (小数点第4位を四捨五入)	履修登録上限単位数
2. 950以上	25単位
通常の1学期あたりの上限単位数	21単位

なお、平成23年度以前に入学した者の成績評価及びGPAの評点区分は、第11条第2項の定めにかかわらず、次のとおりとする。

評点	成績評価	GPAポイント
90~100	S	4
80~89	А	4
70 <b>~</b> 79	В	3
60~69	С	2
40~59	D	0
0~39	E	0

また、平成23年度以前に入学した者の退学勧告等に係るGPAの基準値については、第14条第1項、第2項の定めにかかわらず、「1.000未満」とする。

#### 【平成24~25年度に入学した者】

1つ前の学期のGPA (小数点第4位を四捨五入)	履修登録上限単位数	
2. 200以上	25単位	
通常の1学期あたりの上限単位数	21単位	

なお、平成24~25年度に入学した者の成績評価及びGPAの評点区分は、第11条第2項の定めのとおりとする。

また、平成24~25年度に入学した者の退学勧告等に係るGPAの基準値については、第14条の定めのとおりとする。

(8) この規則は、平成 29 年 3 月 14 日に、第 7 条第 1 項(履修単位の制限)、第 13 条を 改正し、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

また、平成29年度以降在学者のうち平成23年度以前に入学した者の各学期に履修できる単位数については、第7条第1項の定めにかかわらず次のとおりとする。

#### 【平成23年度以前に入学した者】

1つ前の学期のGPA (小数点第4位を四捨五入)	履修登録上限単位数
2. 950以上	25単位
2. 949以下	21単位

なお、平成23年度以前に入学した者の成績評価及びGPAの評点区分は、第11条第2項の定めにかかわらず、次のとおりとする。

評点	成績評価	GPAポイント
90~100	S	4
80~89	А	4
70 <b>~</b> 79	В	3
60~69	С	2
40~59	D	0
0~39	E	0

また、平成23年度以前に入学した者の退学勧告等に係るGPAの基準値については、第14条第1項、第2項の定めにかかわらず、「1.000未満」とする。

- (9) この規則は、平成30年3月13日に、第14条(退学勧告等)を改正し、平成30年4月1日から施行する。
- (10) この規則は、平成30年11月6日に、第7条第1項(履修単位の制限)を改正し、平成31年4月1日から施行する。

別表第1 情報環境学部の授業科目及び単位数

別表第2 情報環境学部の履修の要件

別表第3 情報環境学部における教職課程の履修方法

# 別表第1 情報環境学部の授業科目及び単位数

## 1. 共通教育科目

授業科目の名称		単位数	:
技术符号0万名称	必修	選択	自由
[導入・リテラシー科目] コンピュータリテラシー ワークショップ カリキュラム計画 技術日本語表現法		2 1 1 2	
[自歴歴教国異国人欧技国時日都中中法情基確微線図物物トト心ボ東社政哲論マ環ア倫日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2

極業利用の夕新	1	単位数		
授業科目の名称	必修	選択	自由	
[ 基礎與英英英英英英英英英英英語語話Ⅱ I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	必修	選 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	自由	
海外英語研修C		2		

## 2. 専門教育科目

ネットワーク・コンピュータ工学コース

不ファクーク ロマヒューア工手中			
<b>松类利日の女</b> 称		単位数	
授業科目の名称	必修	選択	自由
	70 10	70.17	
[基礎基幹科目]			
情報処理の基礎		2	
コンピュータプログラミングA		4	
コンピュータプログラミングB			
		4	
システムプログラム/OS		3	
エレクトロニクスA		4	
エレクトロニクスB		3	
ディジタル信号処理		3	
空間表現法・演習		4	
CAD		4	
コミュニケーションデザイン概論		2	
社会心理学		3	
情報倫理と技術者倫理		2	
[コース基幹科目]			
[ネットワーク科目群]			
情報通信リテラシー		2	
インターネット総論A		2	
インターネット総論B(情報倫理と知的財産)		2	
コンピュータネットワーク		3	
• • • • • • • • • • • • • • • • • • •		3	
ネットワークセキュリティ			
情報圧縮		2	
モバイルコンピューティング		2	
[コンピュータ科目群]			
アセンブリ言語		2	
コンピュータ構成		2	
データベースシステム		3	
並列処理		2	
高度データベースシステム		2	
分散リアルタイムシステム		3	
ニューラルネットワーク		2	
[プログラミング科目群]			
データ構造とアルゴリズム		2	
離散数学		2	
C言語システムプログラミング		3	
ヒューマンインタフェース		2	
データマイニング		2	
オブジェクト指向設計		2	
ソフトウエア工学		2	
「コース一般科目			
		0	
ディジタル計測工学		3	
生体情報工学		2	
シミュレーション		2	
生体計測工学		2	
センサー工学			
,		2	
コンピュータグラフィックス		2	

15 W(1) F 2 4 11.	単位数		
授業科目の名称	必修	選択	自由
遠音音感視信医人バ基ヒC建都構構では高ネ人人ラ建建人工情言工を名とという。 との場合をは、大人の大力を関係を表して、大力を関係を表して、大力を対して、対力を対して、大力を対して、対力を対して、対力を対して、対力を対して、対力を対して、対力を対して、対力を対力を対力を対力を対力を対力を対力を対力を対力を対力を対力を対力を対力を対		3 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	<u>п</u>
[数学系科目] 計算機数学 情報数学 I (応用解析学) 情報数学 II (確率・統計) 情報数学III (応用幾何) 情報数学IV (代数学) 情報数学 V (多変量統計解析)		2 3 3 3 3 3	
[演習・プロジェクト科目] 環境計画演習 A 環境計画演習 B 情報環境プラクティス A 情報環境プラクティス B 環境パフォーマンス A		4 4 2 2 4	

授業科目の名称	単位数		
1文条付日の石が	必修	選択	自由
環境パフォーマンスB		4	
インターンシップ		2	
基礎プロジェクトA		4	
基礎プロジェクトB		4	
卒業研究A・開発型プロジェクトA		4	
卒業研究B・開発型プロジェクトB		4	
年次縦断型PBL①		1	
年次縦断型PBL②		1	
年次縦断型PBL③		1	
年次縦断型PBL④		1	
年次縦断型PBL⑤		1	
年次縦断型PBL⑥		1	
年次縦断型PBL⑦		1	
年次縦断型PBL⑧		1	

## デジタル情報工学コース

対学利日の夕称	単位数		
授業科目の名称	必修	選択	自由
[基礎基幹科目] 情報処理の基礎 コンピュータプログラミング A コンピュータプログラミング B システムプログラム/OS エレクトロニクス A エレクトロニクス B ディジタル信号処理 空間表現法・演習 CAD コミュニケーションデザイン概論 社会心理学 情報倫理と技術者倫理		2 4 4 3 4 3 4 4 4 2 3 2	
[コース基幹科目] [音響・画像科目群] 情報圧縮 音響工学A 音響工学B 視覚のディジタル処理 信号処理応用 基礎マルチメディア工学 [バーチャルリアリティー科目群] ヒューマンインタフェース コンピュータグラフィックス 感性工学		2 3 2 3 2 3 2 2 2 2	

₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩	単位数		
授業科目の名称	必修	選択	自由
バーチャルリアリティ ヒューマンメディア CGアニメーション [システム・医用科目群] ディジタル計測工学 生体情報工学 シミュレーション 生体計測工学 センサー工学 遠隔システムと制御 医療情報工学 ニューラルネットワーク 人工知能		2 2 4 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
「情報を対している。」という。 「情報と知的財産的財産的財産的財産のという。」という。 「は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、		2 2 2 2 3 3 3 3 2 2 2 2 3 2 4 2 2 2 3 2 2 1 2	

単位数		
選択	自由	
2 2 2 3 2		
2 3 3 3 3 3		
4 4 2 2 4 4 4 4 4 1 1 1 1 1		
	1 1	

## 建築デザインコース

授業科目の名称	単位数		
1文条件百07右4	必修	選択	自由
[基礎基幹科目] 情報処理の基礎 コンピュータプログラミング A コンピュータプログラミング B		2 4 4	
システムプログラム/OS エレクトロニクスA		3 4	

	単位数		
授業科目の名称	必修	選択	
エレクトロニクスB ディジタル信号処理 空間表現法・演習 CAD コミュニケーションデザイン概論 社会心理学 情報倫理と技術者倫理		3 3 4 4 2 3 2	
[コース基幹科目] [建築計画群] 建築CAD演習 都市居住と環境 インテリジェステム まちばらいででででする。 高齢社ワークでででする。 高齢社ワークででででする。 高齢社ののででででする。 高齢はアンドスケークではでいる。 では、アンドスケークでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で		4 2 3 2 2 2 2 2 2 4 2 3 2 1	
建築 工		2 2 2 2 2 2 4	
情報通信リテラシーアセンブリ言語インターネット総論Aインターネット総論B(情報倫理と知的財産)データ構造とアルゴリズムコンピュータ構成コンピュータネットワーク離散数学ネットワークセキュリティデータベースシステムで言語システムプログラミング並列処理情報圧縮		2 2 2 2 2 2 3 3 3 3 2 2	

伝来到日のなか		単位数	
授業科目の名称	必修	選択	自由
データマイニング		2	
オブジェクト指向設計		2	
高度データベースシステム		2	
モバイルコンピューティング		2	
分散リアルタイムシステム		3	
ソフトウエア工学		2	
ディジタル計測工学		3	
生体情報工学		2	
シミュレーション		2	
生体計測工学		2	
センサー工学		2	
遠隔システムと制御		3	
音響工学A		3	
音響工学B		2	
視覚のディジタル処理		3	
信号処理応用		2	
医療情報工学		2	
ニューラルネットワーク		2	
人工知能		2	
基礎マルチメディア工学		3	
人間中心デザイン・認知心理		2	
ユーザビリティ評価法		2	
情報心理学		2	
言語・非言語コミュニケーション		3	
ITコミュニケーションと社会		2	
[数学系科目]			
計算機数学		2	
情報数学 I (応用解析学)		3	
情報数学Ⅱ(確率・統計)		3	
情報数学Ⅲ(応用幾何)		3	
情報数学IV(代数学)		3	
情報数学V(多変量統計解析)		3	
  [演習・プロジェクト科目]			
「現音・プロジェクト科目」 環境計画演習 A		1	
		4	
環境計画演習 B 情報環境プラクティス A		_	
情報環境ノフクティスA 情報環境プラクティスB		2	
情報境境ノフクティスB 環境パフォーマンスA		2 4	
- N-2-			
環境パフォーマンスB		4	
インターンシップ 基礎プロジェクトA		2 4	
基礎プロジェクトA 基礎プロジェクトB			
<u> </u>		4	
卒業研究A・開発型プロジェクトA 卒業研究B・開発型プロジェクトB		4	
<del>・                                   </del>		4	

授業科目の名称	単位数			
技業符首の石材	必修	選択	自由	
_				
年次縦断型 P B L ①		1		
年次縦断型PBL②		1		
年次縦断型PBL③		1		
年次縦断型 P B L ④		1		
年次縦断型PBL⑤		1		
年次縦断型PBL⑥		1		
年次縦断型PBL⑦		1		
年次縦断型PBL⑧		1		

## コミュニケーション工学コース

授業科目の名称	単位数		
发表性日97年49	必修	選択	自由
[基礎基幹科目] 情報処理の基礎 コンピュータプログラミング A コンピュータプログラミング B システムトロニクス A エレクトロニクス B デロ 表現法・演習 CAD コミュニケーションデザイン概論 社会心理学 情報倫理と技術者倫理		2 4 4 3 4 3 4 4 4 2 3 2	
<ul> <li>[コース基幹科目]</li> <li>[人間科学インタフェース</li> <li>感性間中マン・認知心理</li> <li>大変がデザインを活力を</li> <li>大変がデザーのでは</li> <li>大変ができます。</li> <li>大変を</li> <li>大変を&lt;</li></ul>		2 2 2 2 2 3 2 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2	

接業科目の名称   選択   自由		単位数		
[ 情報・	授業科目の名称			
情報と知的財産) 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		2019	~ 1/1	μщ
情報と知的財産) 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	「コース一般科目〕			
2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			2	
2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				
マンターネット総論 B (情報倫理と知的財産)				
<ul> <li>デコン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>				
コンピュータ				
コ 離 散 学				
離散数学 ネデータシンカーフリティースシンカーフリティースシンカーフリティースシンカーフリティーステンカーフリティーステースカーフリティースカーカージェール カーカー カーカー カーカー カーカー カーカー カーカー カーカー カ	, /			
ネデータング データング アースシスプログラミング 立一方がファインが で一言がシスティンム で一言がアースシーテング がオブデールコンティンム 分でアースシーテング 対ファースをでは、アルファンテートが、アルアルアルアルアルアルアルアルアルアルアルアルアルアルアルアルアルアルアル				
データステム 3 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				
<ul> <li>○ 言語シング</li> <li>○ ご列処理</li> <li>デング</li> <li>デング</li> <li>デング</li> <li>デング</li> <li>デング</li> <li>デング</li> <li>デング</li> <li>デング</li> <li>デング</li> <li>カータベースト</li> <li>カータベーアンテンク</li> <li>分数ステング</li> <li>カフト指ススークスク</li> <li>カンティアム</li> <li>フィング</li> <li>カフトボース・カンク</li> <li>カンフィング</li> <li>カンティアンク</li> <li>カンカース・カンカー</li> <li>カンカース・カンカー</li> <li>カンカース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・</li></ul>				
<ul> <li>並列の理</li> <li>デイング</li> <li>オブジェクト指向設計</li> <li>高度イルコンティング</li> <li>分散リフ・マテング</li> <li>カフ・アング</li> <li>カフ・アング</li> <li>カフ・アング</li> <li>カフ・アング</li> <li>カフ・アング</li> <li>カフ・アング</li> <li>カフ・アング</li> <li>カフ・アンカーステング</li> <li>カフ・アンカーステング</li> <li>カフ・アンカーステング</li> <li>カフ・アンカーステング</li> <li>カフ・アンカースを表して、カースの</li> <li>大バーアアンの</li> <li>建築市造シシスステム</li> <li>大が大力を表したが、</li> <li>大が大力を表した</li></ul>				
<ul> <li>データンティンカリンティンカリンデースを表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を</li></ul>				
オブジェクト				
高度データンピュンシンプライング       2         会のアイングリフィンタイエ当別       2         まがリアルエリーションと生体を対している。       2         なると対しているのでは、       2         まで、       2				
<ul> <li>モバイルンピュシンク</li> <li>分散リアルタイ学</li> <li>ディング</li> <li>ソフィジタイ学</li> <li>ディング</li> <li>ソフィジを報工学</li> <li>生体・コルエ学</li> <li>遠隔情ーシーク</li> <li>大バー・アンと</li> <li>大ボー・アンと</li> <li>大ボー・アンと</li> <li>大ボー・アンと</li> <li>大ボー・アンと</li> <li>大ボー・アンと</li> <li>大ボー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー</li></ul>				
分散フトンテム3ソフィジタ和工学2ディジタ和工学2生体計測工学2生体計測工学2生体計測工学2生体サウシスを表して2生体サウシスを表して2大バーチアニストリーク2大バーチアニストリーク4バーチアニストン4大バーチアニストン4でのでは2大バーチアニストン2大学に2大学に3は2大学ので3は4は3は3は4は4は <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>				
ソフトラエア2ジィンジャン2生体情報工学2シミュ測工学2生体計測工学2支格計測工学2支格報工学2大工学2大工学2大工学2大工学2大工工学2大工工学2大工工環境2大工工環境2大工工環境2大工工環境2大工工環境2大工工環境2大工工環境2大工工環境2大工工環境2大工工環境2建築2大工工業2建築1建築2(数学2(数学2(数学2(数学2(数学2(数学2(数学2(数学2(数学2(数学2(数学2(数学2(数学2(数学2(数学3(数学2(数学3(数学<				
ディジタル計測工学3生体情報工学2生体計測工学2生体計測工学3医療 センサステムと制御2医療 コーク2大工学2定療 コーク2大工・アリティ2企築 C C A D 環境2構造システムと安全 B4構造システムとと好料・境システムとおり・3まか・アックの環境2構造システムとがお環境2本ン・環境制御2大工、下のの実際3建築 大口・2大工、下が料2建築 大利1建築 工法・生産2[数学系科目]				
生体情報工学2シミュレーション2生体計測工学2センサーエ学3医療情である2エンサーステムと制御2医療情であり、カーク2人工の能2アーク2人工のおけった2大工のより2大工のより2大工のの環境3おりの実際2おりの実際3おりたのより2大工環境であり2大工環境であり2大工環境であり2大工環境であり2大工環境であり2大工環境であり2建築大規2建築工法・生産2[数学系科目]2				
シミュレーション2生体計測工学2定素計測工学3透隔システムと制御2医療情システムとの2エーチャルリアリティ2C A D 演習4都市居住と環境2構造システムと材理境2構造システムと材環境3ま高齢社のの環境2ネットワーク医療2人工環境でしたの実験3ランドスケープと環境2建築材料2建築工法・生産2[数学系科目]2				
生体計測工学 センサーエ学 遠隔システムと制御 医療情報工学 ニュース・アリアリティ 人工知能 バーチャン 人工の 人工の 人工の 大工の 大工の 大工の 大工の 大工の 大工の 建築CAD演習 都市とと現境 構造システムとと材 構造システムとと材 構造システムとと材 構造システムとと材 構造システムと 大工の 環境 				
センサー工学 遠隔システムと制御 医療情報工学 ニューラルネットワーク 人工知能 バーチャルリアリティ CGアニメニョン 建築CAD演習 都市居住と環境 構造システムとお材料で まちづくりの環境 ネットワーク医療福祉システム まちづくりの実際 ランドスケープと環境 建築材料 建築工法・生産2 は 名 と で 会 と で 会 と で ステム と で ステム と で ステムと と ステム と ストワークを ストワークと で と ストリジェント で 名 と ストリジェント で 名 と で ストリジェント ステム と ストリジェント ステム と ストリークを ストリークを ストリークを ストリークを ストリークと ストリークと ストリークと ストリークを ストリークと ストリークと ストリークと ストリークと ストリークを ストリークを ストリークを ストリークを ストリークを ストリークを ストリークを ストリークを ストリークを ストリークを ストリークを ストリークを ストリークを ストリークを ストリークを ストリーの 				
遠隔システムと制御 医療情報工学 ニューラルネットワーク 人工知能 バーチャルリアリティ CGアニメーショ 建築CAD演習 都市居住と環境 構造システムとと安全B 構造システムと材料環・デーンのでは、 まちづくりの環境 インテリンステム まちがくりの実際 ネットで一プと環境 利工環境づくりの実際 ランドスケープと環境 建築工法・生産 「数学系科目」				
医療情報工学 ニューラルネットワーク 人工知能 バーチャルリアリティ CGアニメーション 建築CAD演習 都市居住と環境 構造システムと安全A 構造システムと安全B 構造システムと材料・実験 インテリジェント環境システム まちづくりの環境デザイン 高齢社会と環境 ネットワーク医療福祉システム 人工環境制御 人工環境でクープと環境 ランドスケープと環境 建築材料 建築法規 建築工法・生産 [数学系科目]2 2 2 2 3 3 2 2 2 1 2 2 2 3 3 2 2 2 2 2 3 3 2 2 2 2 3 3 2 2 2 2 3 3 2 2 2 3 3 3 4 4 2 2 3 3 4 4 2 2 2 3 3 4 4 4 2 2 3 3 4 4 4 4 5 4 4 4 5 4 4 5 4 4 5 4 5 4 4 5 4 5 5 6 7 7 7 8 7 9 <b< td=""><td>•</td><td></td><td></td><td></td></b<>	•			
ニューラルネットワーク 人工知能2バーチャルリアリティ CGアニメーション 建築CAD演習 都市居住と環境 構造システムと安全A 構造システムと安全B 構造システムと材料・実験 インテリジェント環境システム まちづくりの環境デザイン 高齢社会と環境 ネットワーク医療福祉システム 人工環境づくりの実際 ランドスケープと環境 建築材料 建築大規 建築工法・生産 [数学系科目]2				
人工知能 バーチャルリアリティ CGアニメーション 建築CAD演習 都市居住と環境 構造システムと安全B 構造システムと材料・実験 インテリジェント環境システム まちづくりの環境デザイン 高齢社会と環境 ネットワーク医療福祉システム 人工環境制御 人工環境づくりの実際 ランドスケープと環境 建築材料 建築法規 建築工法・生産2「数学系科目]2				
バーチャルリアリティ CGアニメーション 建築CAD演習 都市居住と環境 構造システムと安全A 構造システムと安全B 構造システムと材料・実験 インテリジェント環境システム まちづくりの環境デザイン 高齢社会と環境 ネットワーク医療福祉システム 人工環境制御 人工環境づくりの実際 ランドスケープと環境 建築材料 建築大規 建築工法・生産2 2 2 3 3 2 2 1 2 2 3 3 3 2 2 2 4 4 2 2 3 3 2 2 2 3 3 4 4 2 2 3 3 2 2 2 3 3 4 4 2 2 3 3 4 4 2 2 3 3 4 4 5 4 4 5 4 4 5 5 7 7 7 8 7 7 8 9 <br< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td></br<>				
CGアニメーション4建築CAD演習4都市居住と環境2構造システムと安全A2構造システムと安全B4構造システムと材料・実験4インテリジェント環境システム3まちづくりの環境デザイン2高齢社会と環境2ネットワーク医療福祉システム2人工環境制御2人工環境づくりの実際3ランドスケープと環境2建築材料2建築法規1建築工法・生産2[数学系科目]				
建築CAD演習4都市居住と環境2構造システムと安全B2構造システムと材料・実験 インテリジェント環境システム まちづくりの環境デザイン 高齢社会と環境 ネットワーク医療福祉システム 人工環境づくりの実際 ランドスケープと環境 建築材料 建築大規 建築工法・生産2(数学系科目]42222232322324242222332232323333344233333444454677777879<				
都市居住と環境2構造システムと安全B2構造システムと材料・実験4インテリジェント環境システム3まちづくりの環境デザイン2高齢社会と環境2ネットワーク医療福祉システム2人工環境制御2人工環境づくりの実際3ランドスケープと環境2建築材料2建築法規1建築工法・生産2[数学系科目]				
構造システムと安全A2構造システムとお料・実験 インテリジェント環境システム まちづくりの環境デザイン 高齢社会と環境 ネットワーク医療福祉システム 人工環境制御 人工環境づくりの実際 ランドスケープと環境 建築材料 建築大規 建築工法・生産2【数学系科目】2				
構造システムと安全B 構造システムと材料・実験 インテリジェント環境システム まちづくりの環境デザイン 高齢社会と環境 ネットワーク医療福祉システム 人工環境制御 人工環境づくりの実際 ランドスケープと環境 建築材料 建築大規 建築工法・生産 [数学系科目]				
構造システムと材料・実験 インテリジェント環境システム まちづくりの環境デザイン 高齢社会と環境 ネットワーク医療福祉システム 人工環境制御 人工環境づくりの実際 ランドスケープと環境 建築材料 建築法規 建築工法・生産2【数学系科目】2				
インテリジェント環境システム3まちづくりの環境デザイン2高齢社会と環境2ネットワーク医療福祉システム2人工環境制御2人工環境づくりの実際3ランドスケープと環境2建築材料2建築法規1建築工法・生産2[数学系科目]			2	
まちづくりの環境デザイン2高齢社会と環境2ネットワーク医療福祉システム2人工環境制御2人工環境づくりの実際3ランドスケープと環境2建築材料2建築法規1建築工法・生産2[数学系科目]				
高齢社会と環境 ネットワーク医療福祉システム 人工環境制御 人工環境づくりの実際 ランドスケープと環境 建築材料 建築法規 建築工法・生産  「数学系科目]	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
ネットワーク医療福祉システム       2         人工環境制御       2         人工環境づくりの実際       3         ランドスケープと環境       2         建築材料       2         建築法規       1         建築工法・生産       2         [数学系科目]	まちづくりの環境デザイン			
人工環境制御2人工環境づくりの実際3ランドスケープと環境2建築材料2建築法規1建築工法・生産2[数学系科目]				
人工環境づくりの実際3ランドスケープと環境2建築材料2建築法規1建築工法・生産2[数学系科目]	ネットワーク医療福祉システム			
ランドスケープと環境2建築材料2建築法規1建築工法・生産2[数学系科目]	21122111			
建築材料       2         建築法規       1         建築工法・生産       2         [数学系科目]       2				
建築法規       1         建築工法・生産       2         [数学系科目]       1	ランドスケープと環境		2	
建築工法・生産       2         [数学系科目]       2	建築材料		2	
[数学系科目]	建築法規		1	
	建築工法・生産		2	
	  「数学系科目]			
H1 21 1222 4			2	
	F 1 21 1/2/2/3			

## 3. 教職課程に関する科目

①教職に関する科目

授業科目の名称	単位数				
及業件目の右例	必修 選択 自		自由		
教育社会学		2			
教職入門			2		
教育学概論			2		
教育心理学			2		
教育課程論			2		
教育の方法と技術			2		
特別活動論			1		
情報科教育法			4		
数学科教育法			4		
教育相談			2		
生徒・進路指導論			2		
教育実習セミナー			2		
教職実践演習(高)			2 2 2 2 2		
教育実習 I			2		

### 別表第2 情報環境学部の履修の要件

情報環境学部においては、次により124単位以上を履修し、修得しなければならない。

区分		単位数		
		情報環境学科		
共通教育科目	導入・リテラシー科目	2 単位		
	素養科目	3 6 単位		
	英語科目 ※1	30年世		
	基礎基幹科目 ※2			
	コース基幹科目 ※3			
専門教育科目	コース一般科目	7 4 単位		
	数学系科目			
	演習・プロジェクト科目			
任意に選択し、修得した科目		1 2 単位		
승 카		1 2 4 単位		

- ※1 英語科目は、8単位以上修得しなければならない。
- ※2 基礎基幹科目は、14単位以上修得しなければならない。
- ※3 コース基幹科目は、各コースに設定された複数の科目群のうち、 少なくとも2つの科目群において、各8単位以上修得しなければ ならない。

# 別表第3 情報環境学部における教職課程の履修方法

### ① 免許教科に関する科目

免許状の種 類	免許教 科	科 目 名	履修方法
高等学校教 諭 一種免許状	数学	代数学 幾何学 解析学 「確率論、統計学」 コンピュータ	それぞれ 1 単位以上計
	情 報	情報社会及び情報倫理 コンピュータ及び情報処理(実習を含む。) 情報システム(実習を含む。) 情報通信ネットワーク(実習を含む。) マルチメディア表現及び技術(実習を含む。) 情報と職業	型位以上司 20単位修得 すること。

#### ② 教職に関する科目

② 教職に関りる件	_	
授業科目名	単位数	履修方法
教職入門	2	
教育学概論	2	
教育心理学	2	
教育社会学	2	
教育課程論	2	
教育の方法と技術	2	
特別活動論	1	
数学科教育法	4	取得しようとする免許教科ごとに修得すること。
情報科教育法	4	
生徒・進路指導論	2	
教育相談	2	
教育実習セミナー	2	
教職実践演習(高)	2	
教育実習 I	2	

### ③ 教科又は教職に関する科目

0 211174111711111111111111111111111111111					
免許法施行規則に定める科目区分	履修方法				
教科又は教職に関する科目	指定科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について、併せて高等学校一種免許状16単位以上修得すること。				

### ④ 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目		履	修	方	法		
日本国憲法	)						
体育		それぞれ2単位を修得すること。					
外国語コミュニケーション		-(40-(4	10 乙 平	11年11月11日	149の	0	
情報機器の操作	J						